

系統性のある支援研究事業の取組

福岡県



第4学区

久山町

学校種	学校数	児童生徒数
幼稚園	460園	64,151人
小学校	753校	276,597人
中学校	370校	139,161人
高等学校	202校	135,332人
中等教育学校	2校	698人
特別支援学校	38校	5,675人

○ 平成28年5月1日現在

○ 政令市立・私立学校を含む。

福岡県教育庁教育振興部 義教育課特別支援教育室 指導主事 牛島 玲
 久山町教育委員会 教育課 指導主事 高武 龍彦
 福岡県教育庁教育振興部 高校教育課 指導主事 矢津田 としえ

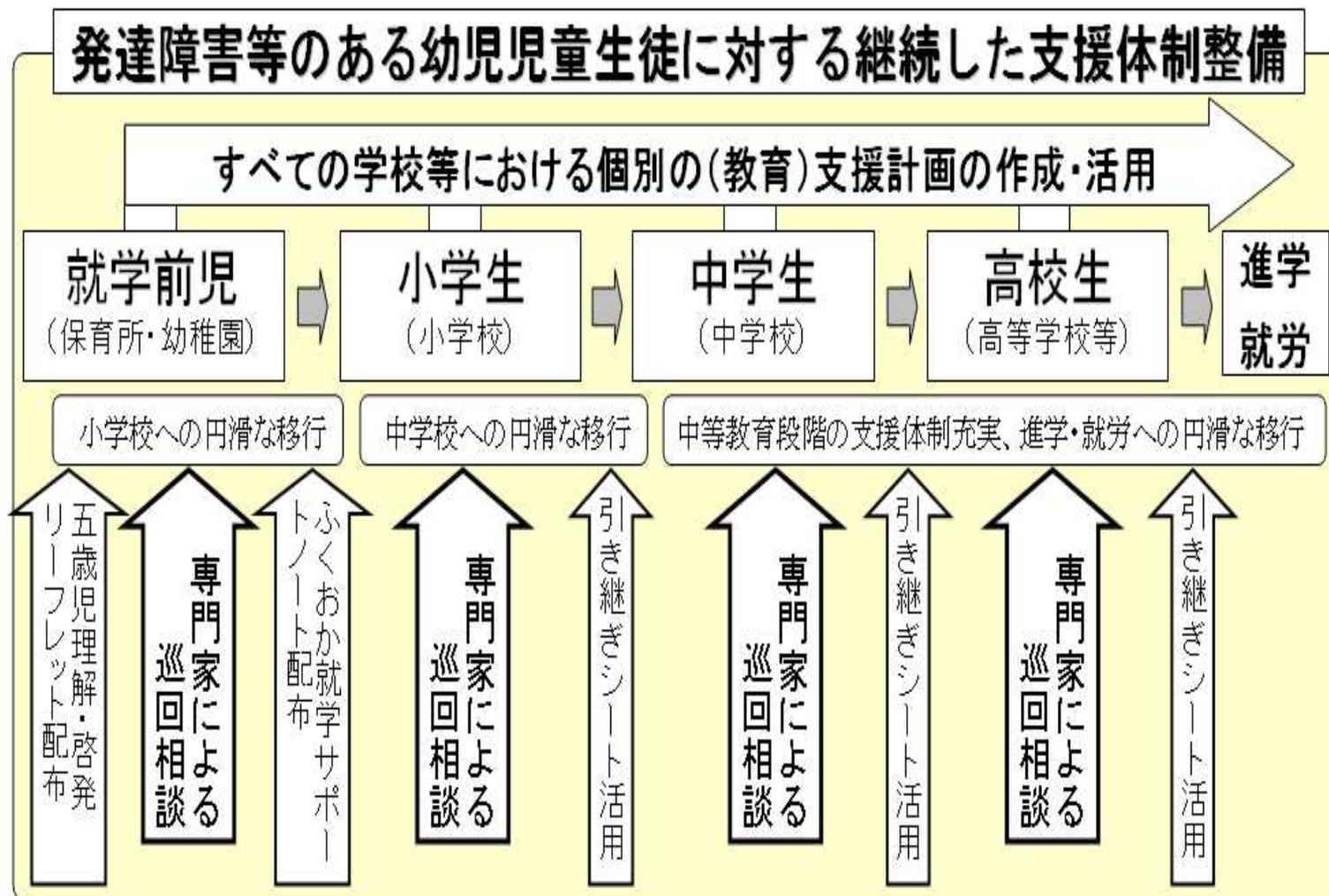
本日お話しすること

- 1 本県の考え方
- 2 就学前から中(高等)学校の引継ぎ
(実践Ⅰ:久山町教育委員会)
- 3 中学校から高等学校の引継ぎ
(実践Ⅱ:福岡県高校教育課)
- 4 成果と課題

本日お話しすること

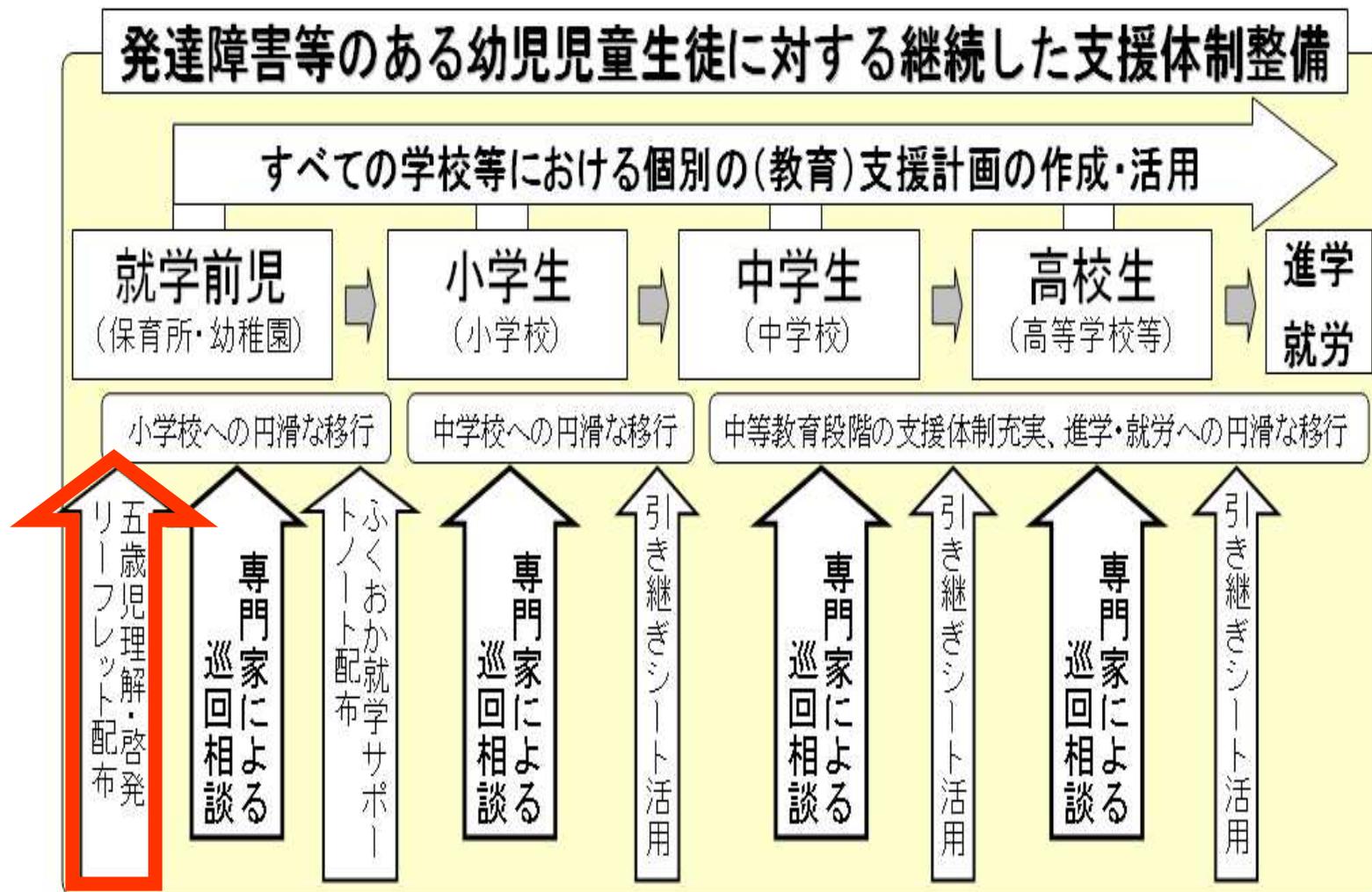
- 1 本県の考え方**
- 2 就学前から中(高等)学校の引継ぎ
(実践Ⅰ:久山町教育委員会)
- 3 中学校から高等学校の引継ぎ
(実践Ⅱ:福岡県高校教育課)
- 4 成果と課題

発達障害児等教育継続支援事業（事業イメージ図）



気づく ⇒ 具体化する ⇒ つなぐ

幼児児童生徒へのかかわりの視点 ①



困難さに気づく

就学前保護者へ「相談案内リーフレット」

気になることは、小学校へ伝えましょう！

充実した学校生活を送るために、お子さんの状態や適切な支援方法などを小学校へ伝えることが大切になります。小・中学校、高等学校では、一人一人のニーズに応じた教育をすすめています。

小学校へ
伝えておくと…

(例)

新しい環境や初めての場所に行くとき不安になって、動けなくなることもあるので、学校生活のスタートが心配…



例えば、入学式会場の事前見学や当日のスケジュールを事前にもらうなど、見通しをもつための支援を受けることで、安心した学校生活をスタートさせることができます。



県域5歳児保護者

全家庭へ配布

高校入学者の保護者へ「相談案内リーフレット」

実は…

保護者のみなさまへ

こんなことで困っていませんか？

2つ以上の作業を同時にこなそうとすると混乱してしまう。

特定のことにこだわり、興味が広がらない。

友だちとの関係の作り方が下手で、トラブルも多い。



漢字や英語のスペルがどうしても覚えられない。

プリントや配布物をよくなくしてしまう。

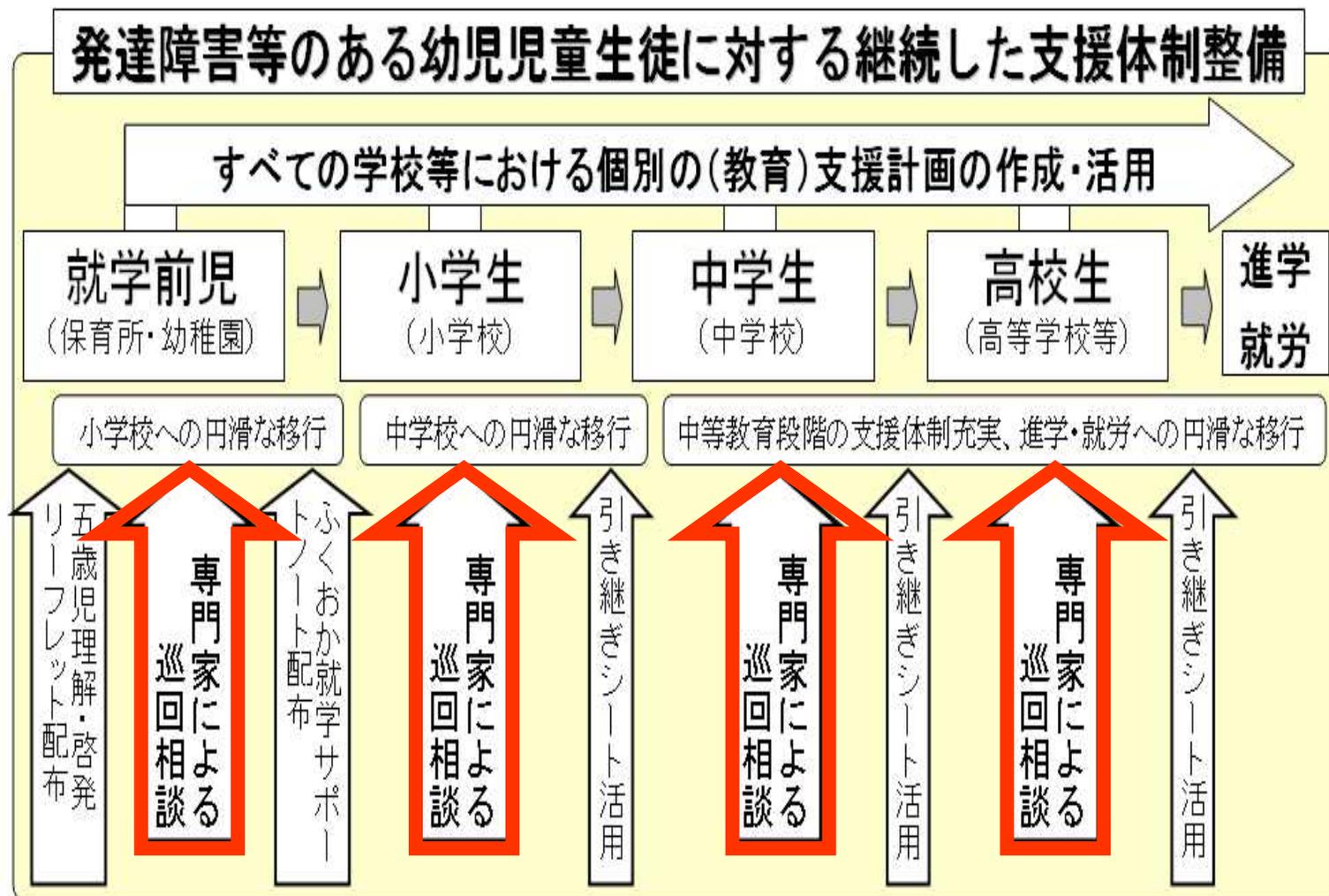
感情的になり、気持ちの切り替えが難しいことがある。

急に予定が変わると次に何をしてよいか分からなくなる。

高校生の中には、本人の努力だけでは解決できない学習や生活上の困難を抱えている生徒がいます。この中には

県立高校新入生 全保護者へ配布

幼児児童生徒へのかかわりの視点 ②



指導を具体化する

①通常学級において、担任等が「授業づくり」や「教室環境づくり」を工夫します



だれに取り組むか
(対象の明確化)

何に取り組むか
(課題の明確化)

何から取り組むか
(優先順位の決定)

どう取り組むか
(支援の具体化)

①-(1) どこに課題があるのか明らかにします

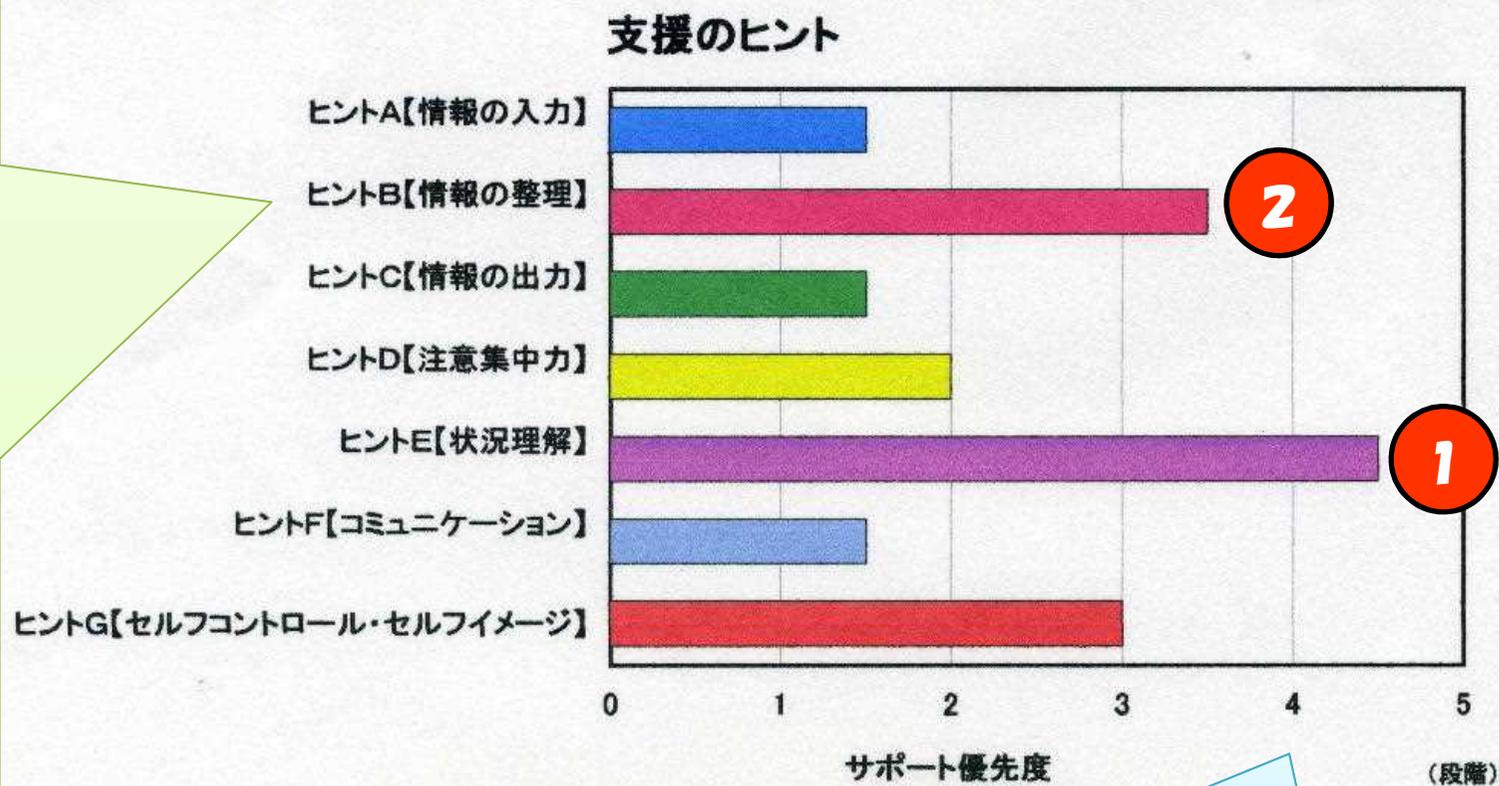
対象生徒氏名:【 】		記入日: 年 月 日	記入者:
チェック項目(教員の観察による生徒の姿)			チェック
学習上の 気付き	1	聞いたことがなかなか覚えられない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	2	文字の弁別ができない。(あとお、シとツ、pとq、1とlなど。)	<input type="checkbox"/>
	3	行をとばしたり、読んでいる箇所が分からなくなったりする。	<input type="checkbox"/>
	4	内容の意味が理解できない。(指示の内容や文章の内容など。)	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	集団場面での聞き取りが難しい。	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	ざわざわした教室にいることが耐えられない。	<input type="checkbox"/>
	7	話し合いについていけない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	図形の見取図や立体図をかくことが難しい。	<input type="checkbox"/>
	9	相手が聞いて分かるように話せない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	経験したことを順序立てて話すことができない。	<input checked="" type="checkbox"/>
	11	ルールのある競技やゲームは苦手のようにみえる。	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	判読しにくい乱雑な文字を書く。また、文章に書くと一文字一文字のバランスが極端に悪い。	<input type="checkbox"/>
	13	2つ以上の作業を同時にこなそうとすると混乱してしまう。	<input type="checkbox"/>
	14	的確な言葉を見つけられなかったり、つまったりすることが多い。	<input type="checkbox"/>
	15	漢字の一部を間違えて書く。(省略したり付加したりする。)	<input type="checkbox"/>
	16	黒板の文字を視写するのに時間がかかる。ノートがとれない。	<input type="checkbox"/>
	17	計算に時間がかかる。簡単な計算が暗算できない。	<input checked="" type="checkbox"/>

担任を中心に、同学年や近接学年・クラブや委員会担当者など多くの目で話し合いながら、気づきを整理します。

校内委員会における協議の過程で、当該児童生徒の課題(情報)が具体化・共有化できます。

①-(2) 対象児童生徒の課題の傾向性と解決の優先順位を明らかにします

一つひとつの課題を集約して、どこに集中して取り組むべきか課題の傾向を明らかにします。



横軸が「サポート優先度」、段階が高いほど課題解決の優先順位が高くなります。まず、何から取り組むべきかが明らかになります。

①-(3) 課題に応じた支援の方法を具体化します

ヒントD【注意集中力】



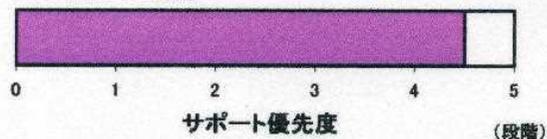
【分析】

この項目について「サポート優先度」が高い生徒については、注意の集中や持続、注意記憶に課題があるのかもしれない。

【支援のヒント】

- ・注意の集中を促してから話しかける。
- ・指示や説明は、簡潔に行う。
- ・ルールや片付ける場所などは、視覚的に提示しておく。
- ・覚えておくべきことをメモする習慣を形成する。
- ・作業などの予定や終わり（時間や量）を事前に提示しておく。（タイマー等の活用）

ヒントE【状況理解】



【分析】

この項目について「サポート優先度」が高い生徒については、状況の理解に課題があるのかもしれない。

【支援のヒント】

- ・ルールや指示などを視覚的に提示し、1つ1つことばで確認する。
- ・場面や状況、その時の気持ちなどを分かりやすいことばで伝える。
- ・ロールプレイを通じた対人関係についての学習の場を設定する。
- ・VTRを用いて、自分自身の行動や周囲の状況を振り返る時間を設定する。
- ・作業予定や終わり（時間や量）を事前に提示し、予定の変更は、事前に知らせる。

支援のヒントに書かれている内容から、実際に取り入れられるものを選択し、支援計画に明記します。

例「ルールや指示などを視覚的に提示し、**一つひとつことばで確認する。**」を授業で具体化すると…。

①-(4) 支援の具体を参考に「個別の指導計画」を作成します。

	D	E	F	G
	シンプル	クリア	ビジュアル	シェア
1 ⇒ 状況を理解し、見通しをもつための支援が必要				
2 ・活動場所や物の配置について見取り図や配置図等を示すことで大体の場所を知らせるとともに、本人が途中で確認できるようにする。		○	○	
3 ・片付ける場所は一つの場所に種類のものに対応させる。	○			
4 ・ロッカーを利用して、机の中の荷物を最小限にする。	○			
5 ・机の横には荷物をかけないようにする	○			
6 ・座席の位置を工夫する。(モデルになる子をペアにし、近くにする。)				○
7 ・ルールや指示、今からやること等をキーワードにして伝える。	○			
8 ・ルールや指示、今からやること等を視覚的に提示する。			○	
9 ・活動ごとにルールを確認させたり、児童生徒に復唱させたりする。		○		
10 ・活動の内容や方法、時間、場所等を児童生徒同士で確認させる。		○		○
11 ・活動内容・方法について、手順表や活動表、活動モデル、完成品等を示すことで予告するとともに、途中で確認できるようにする。		○	○	
12 ・活動時間について、手順表や活動表、開始・終了時刻、時間(時計)等を示すことで予告するとともに、途中で確認できるようにする。		○	○	
13 ・ルールや指示等をメモにして渡し、机の見えるところに置かせる。				
14 ・「今から2つの話をします」「今から持ってくるものを言います」のように結論や要点を先に伝える。				
15 ・児童生徒の経験や馴染みのある事例をあげたりたとえたりしてイメージ化(映像化)しやすくする。				

配慮事項をクリックすると参考写真等の具体列による説明が出来ます。



専門家の助言による最適な指導をめざして

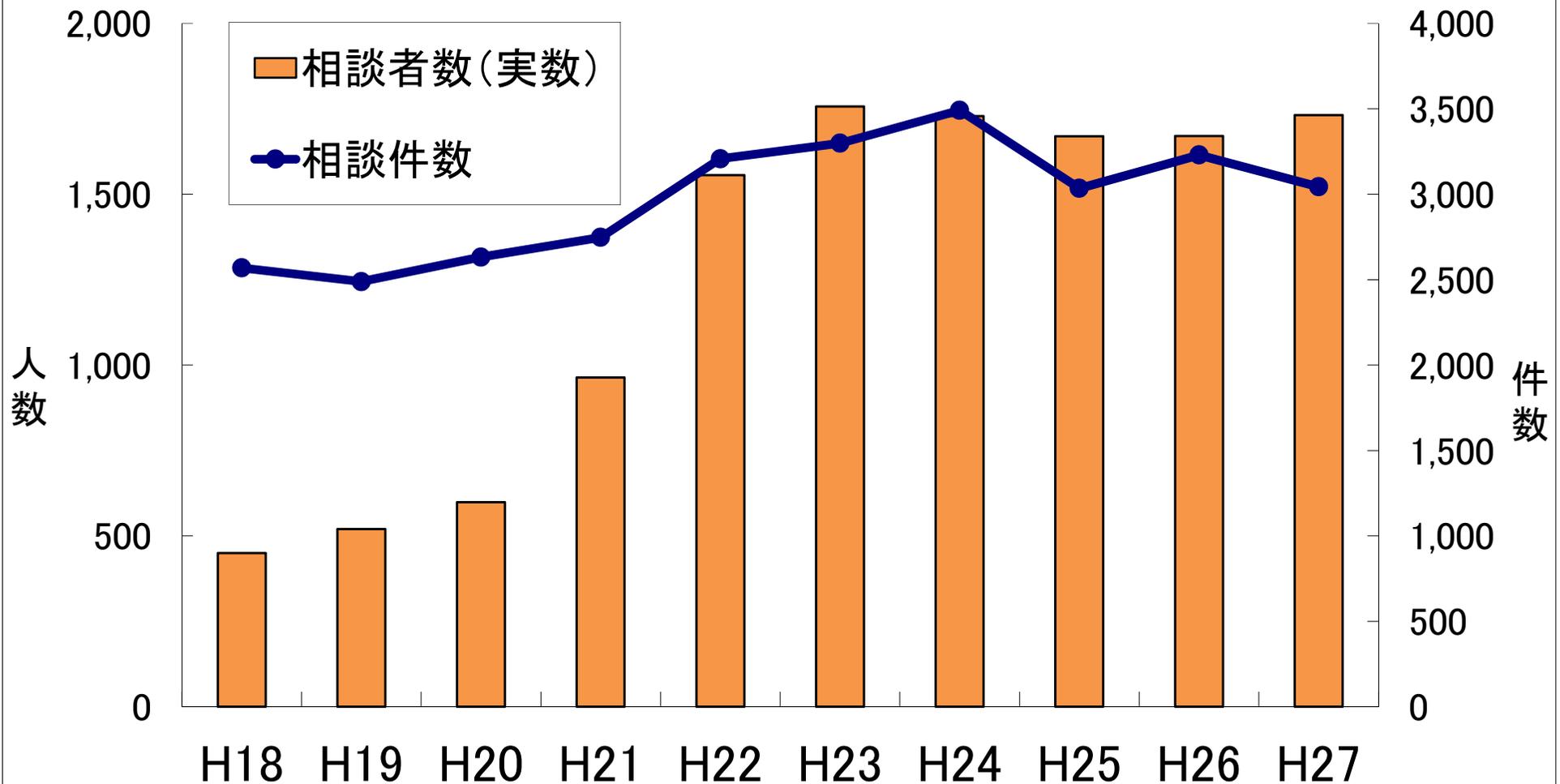
平成27年度学校種別「巡回相談」活用件数

学校種	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	合計
相談件数	17	43	339	74	21	494

協会委託により私立学校・園にも派遣¹⁴

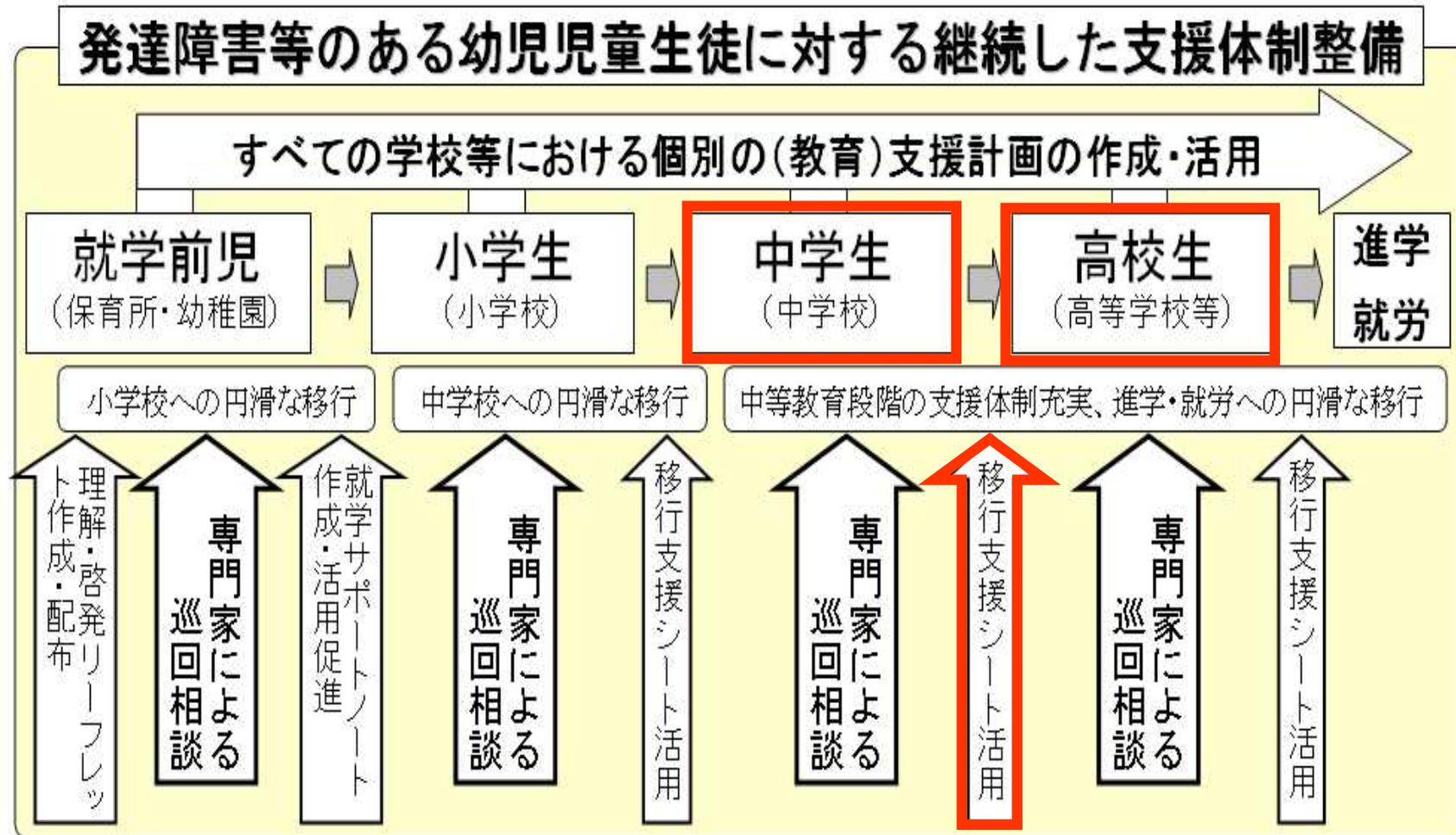
センター的機能を活用して指導を具体化するために

県立特別支援学校における教育相談の推移



子ども理解・授業づくり・環境づくりの助言

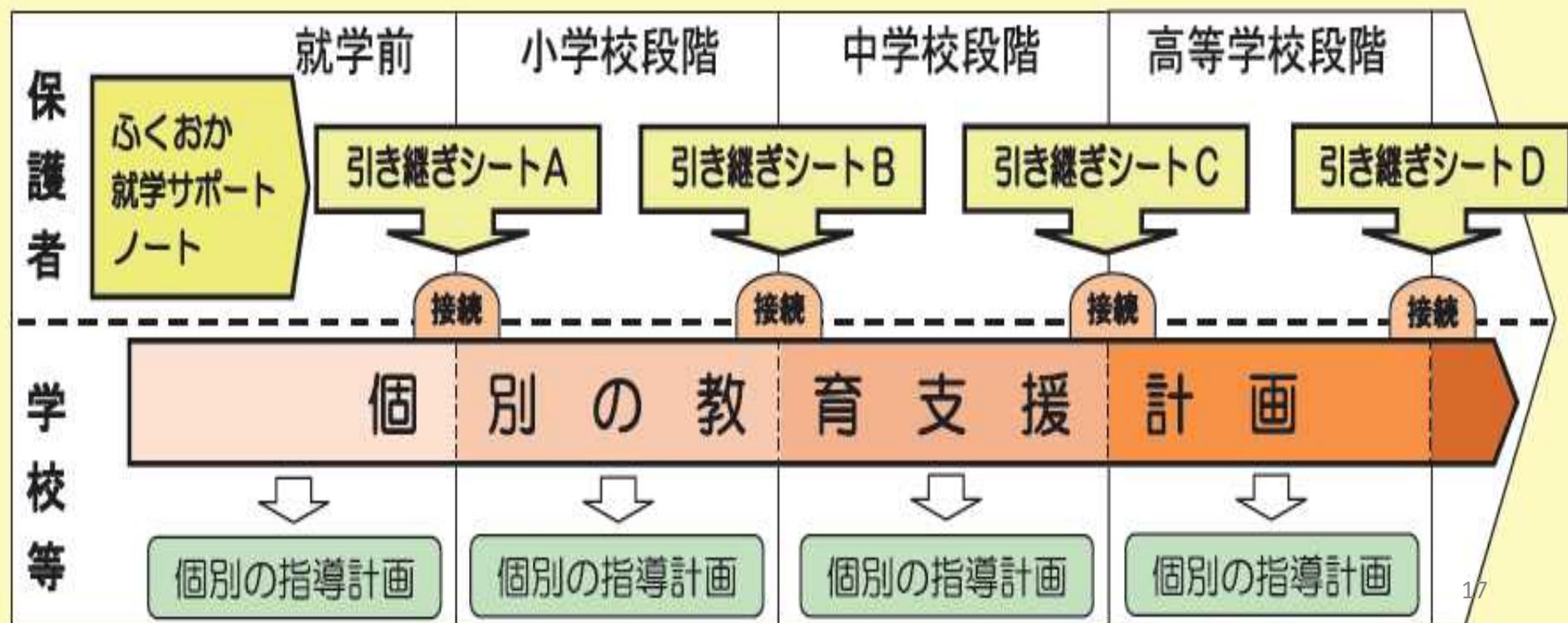
幼児児童生徒へのかかわりの視点 ③



指導の成果をつなぐ

一貫した継続性のある支援を充実するために

ふくおか就学サポートノートを活用しましょう！



サポートノートは入学・卒業時を中心に
個別の教育支援計画・指導計画と関連づけて活用します

引き継ぎシートC

〔中学校 → 高等学校・特別支援学校〕

このシートは、お子さんに必要な支援内容・方法などについて進学先の学校に伝える際に活用するものです。

シートの記入や進学先の学校への引き継ぎに際しては、中学校の先生方に協力してもらうことが大切です。

引き継ぎシートD

〔高等学校 → 進学・就職先等〕

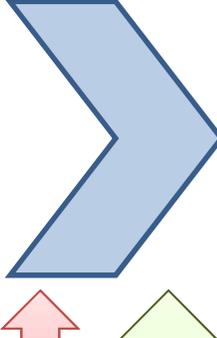
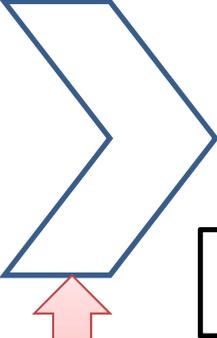
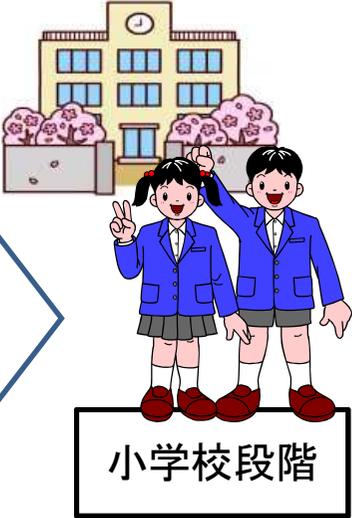
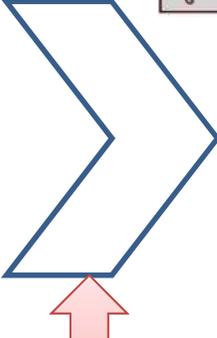
このシートは、お子さんに必要な支援内容・方法などについて進学・就職先等に伝える際に活用するものです。

シートの記入や進学・就職先等への引き継ぎに際しては、高等学校の先生方に協力してもらうことが大切です。

県域の幼・保、小、中、高を通して必要な
家庭に配布し、学校と家庭で協力して作成

本県における「系統性のある支援研究事業」の考え方

研究事業①② の分担



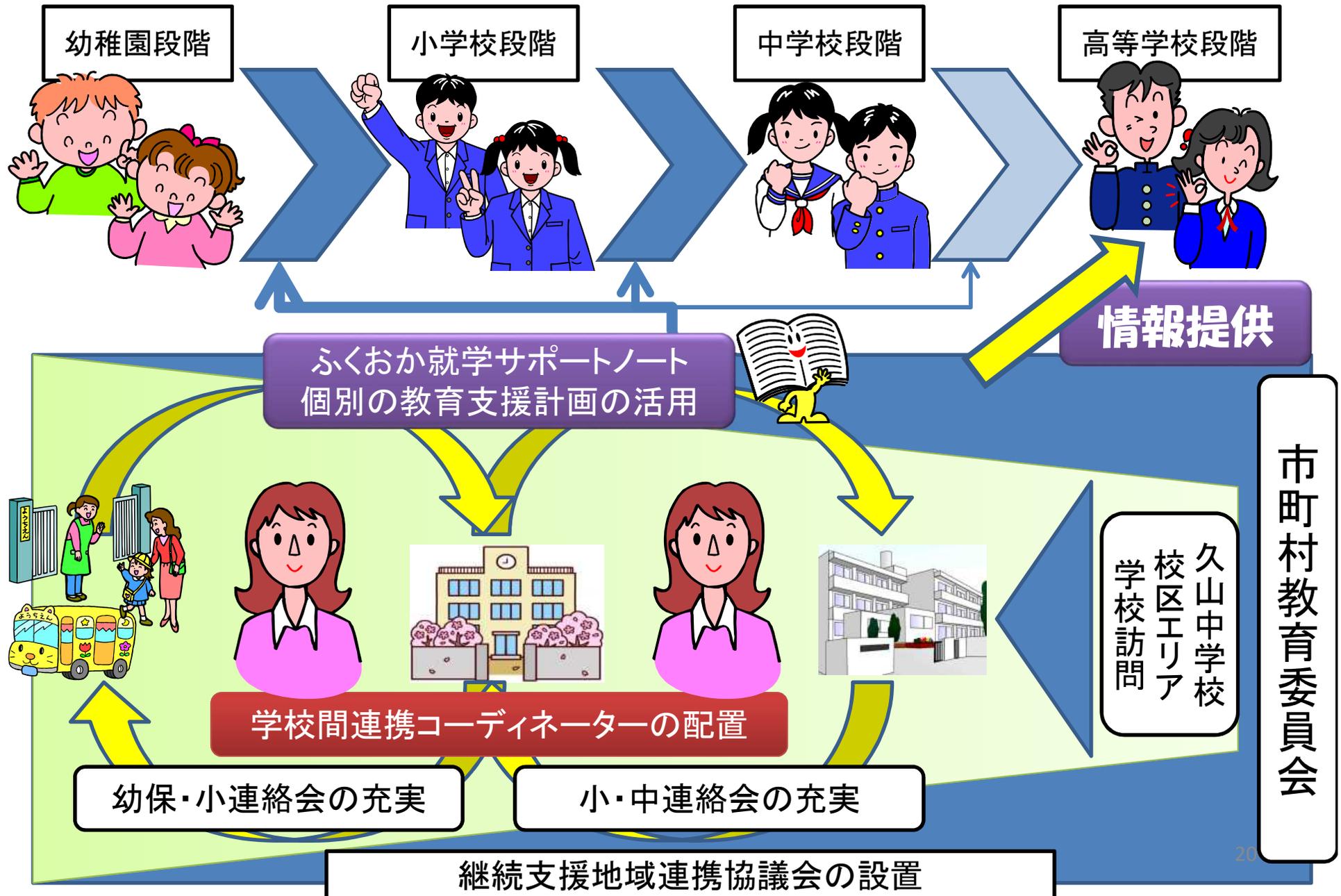
系統性のある支援研究事業①

義務教育課主管：久山町教育委員会（指定地域）

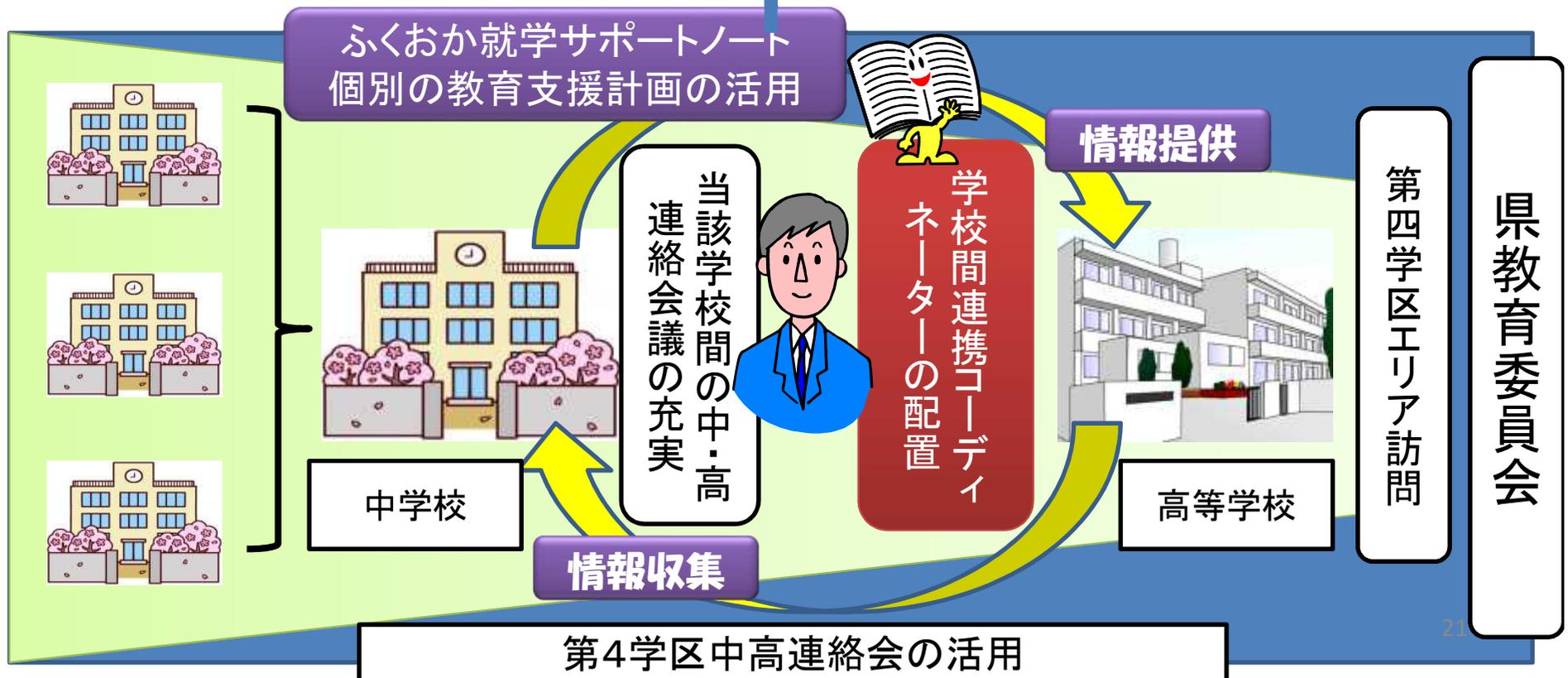
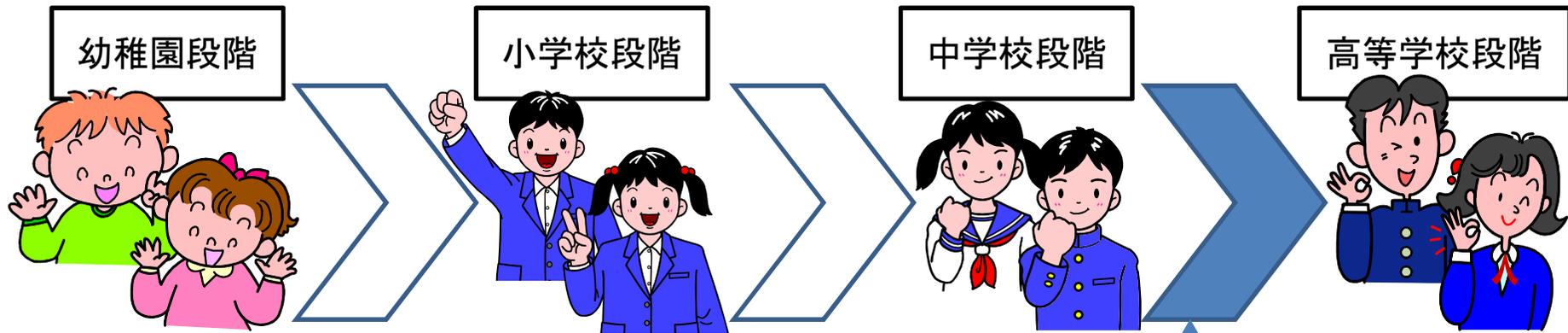
系統性のある支援
研究事業②

高校教育課主管：第4学区（指定学区）

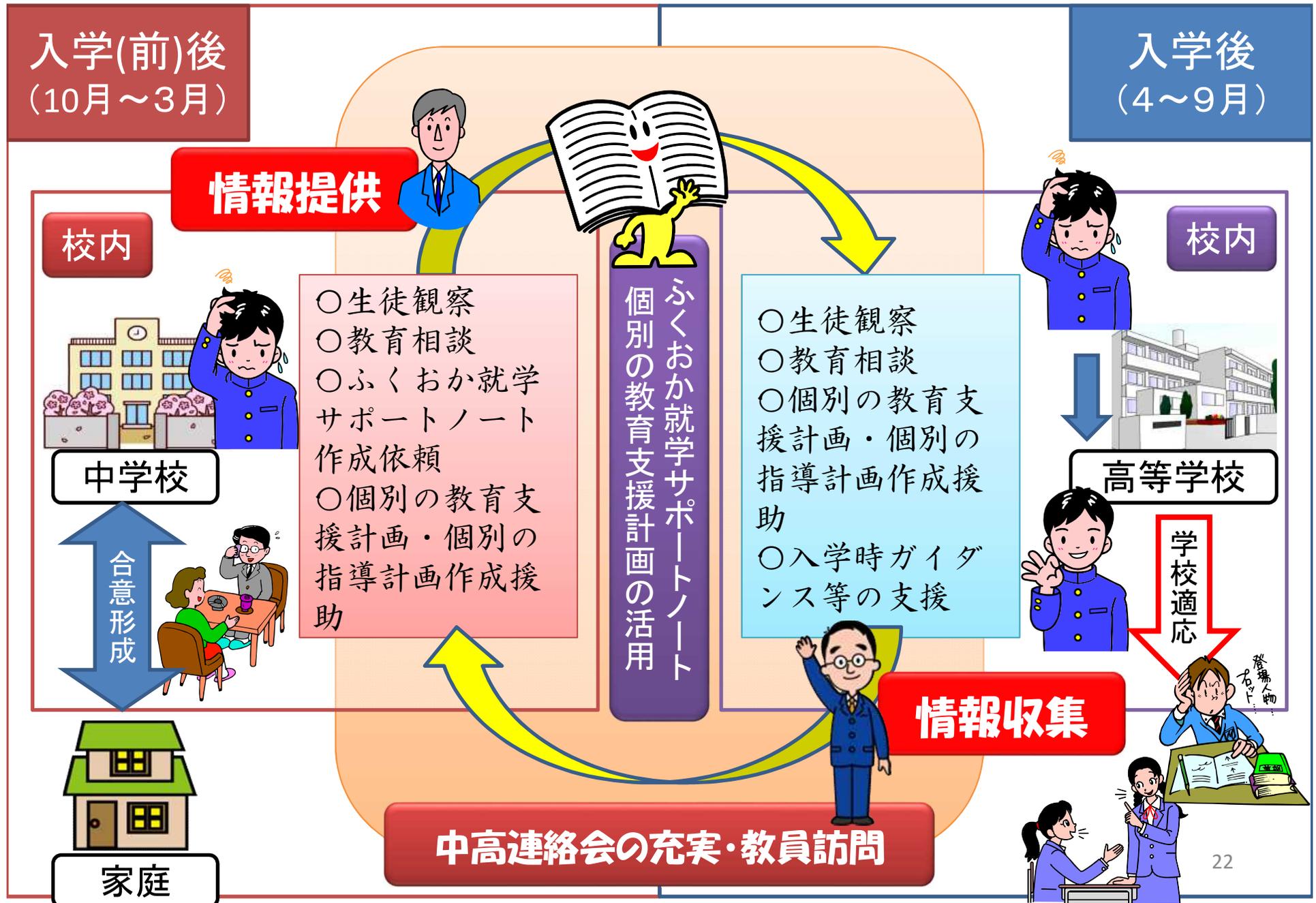
実践Ⅰ 幼保・小・中学校の取組（久山町教育委員会）



実践Ⅱ：高等学校の取組（高等学校第4学区）



一貫した継続性のある支援【異学校種間の連携 例）中・高間連携】



委託

文部
科学省

福岡県教育委員会

福岡県発達障害者支援体制整備検討委員会(県特別支援連携協議会)

義務教育課(特別支援教育室)

高校教育課

再委託

久山町教育委員会(指定地域)

久山町継続支援研究地域運営協議会

他市町
立
第四学区
内
中学校

高等学校

第4学区
(指定学区)

保育園
幼稚園

小学校

中学校

- 久山町継続支援研究地域運営協議会の開催
- 学校間連携コーディネーター(久山町配置)の配置
- 巡回相談(臨床心理士)の実施
- ふくおか就学サポートノートの活用
- 個別の教育支援計画・指導計画の作成

- 学校間連携コーディネーター(福岡県配置)の配置
- ふくおか就学サポートノートの活用
- 個別の教育支援計画・指導計画の作成

委託

文部
科学省

福岡県教育委員会

福岡県発達障害者支援体制整備検討委員会(県特別支援連携協議会)

義務教育課(特別支援教育室)

再委託

久山町教育委員会(指定地域)

久山町継続支援研究地域運営協議会

保育園
幼稚園

小学校

中学校

高校教育課

他市町
村立
中学校

高等学校

第4学区
(指定学区)

- 久山町継続支援研究地域運営協議会の開催
- 学校間連携コーディネーター(久山町配置)の配置
- 巡回相談(臨床心理士)の実施
- ふくおか就学サポートノートの活用
- 個別の教育支援計画・指導計画の作成

- 学校間連携コーディネーター(福岡県配置)の配置
- ふくおか就学サポートノートの活用
- 個別の教育支援計画・指導計画の作成

本日お話しすること

- 1 本県の考え方
- 2 就学前から中(高等)学校の引継ぎ
(実践Ⅰ:久山町教育委員会)
- 3 中学校から高等学校の引継ぎ
(実践Ⅱ:福岡県高校教育課)
- 4 成果と課題

久山町の実態



配慮を要する園児・児童・生徒が年々増加



久原小学校(353名)



山田小学校(253名)



久原幼稚園(70名)



山田幼稚園(57名)



久山保育所(133名)

久山町の取組

発達障害の可能性のある児童生徒等に対する継続支援事業
系統性のある支援研究事業

久山町における具体的方策

① 学校間連携コーディネーターの複数配置及び活用

コーディネーター A (3名) ※九州大学大学院生

コーディネーター B (1名) ※特別支援学校元校長

② チェックシート、支援シートの開発及び活用

担任の気づきをもとに児童生徒の困難さを推測

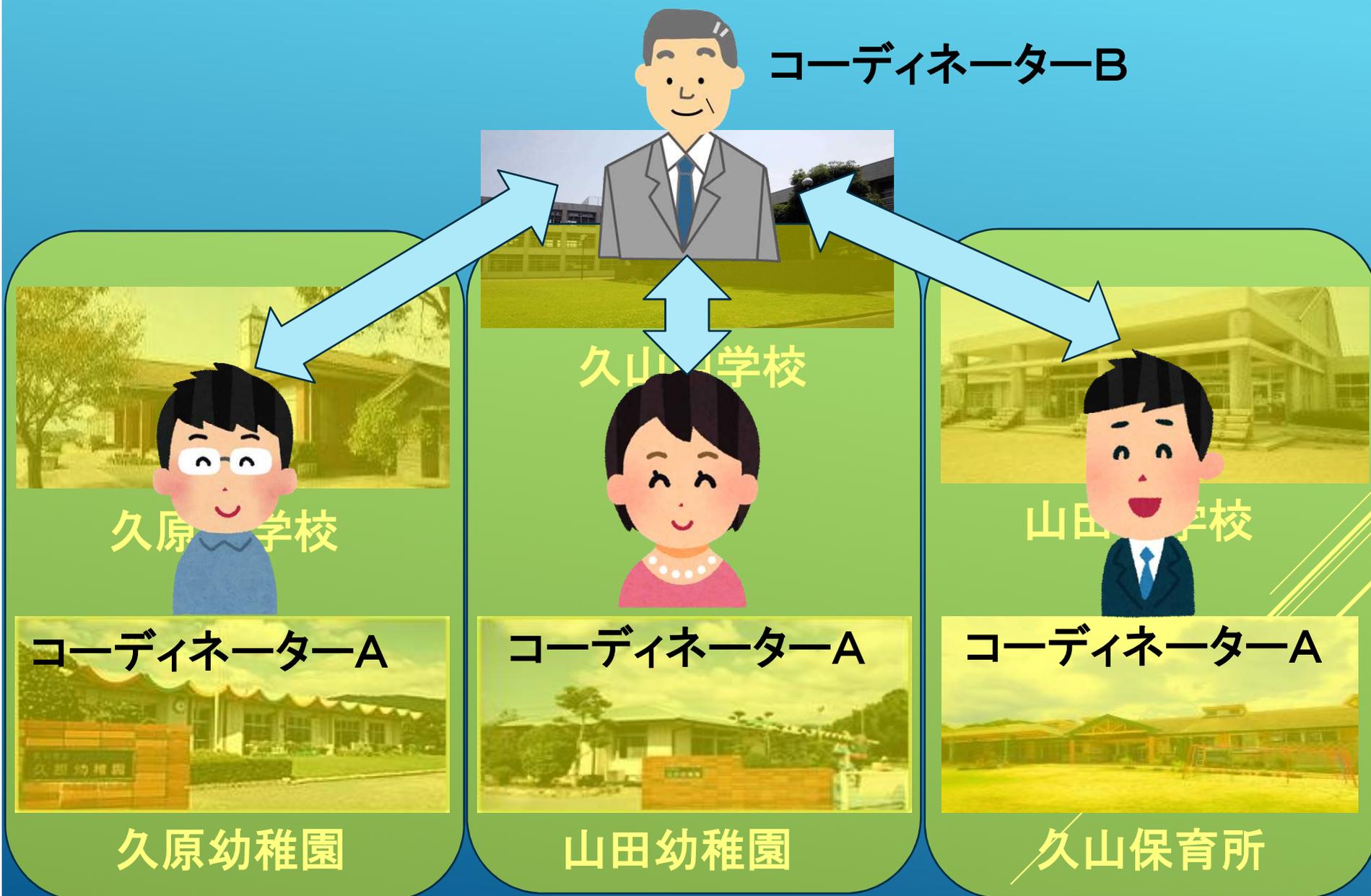
困難さをもつ児童生徒への適切な支援を行う

③ 久山町継続支援地域連携協議会での共通理解

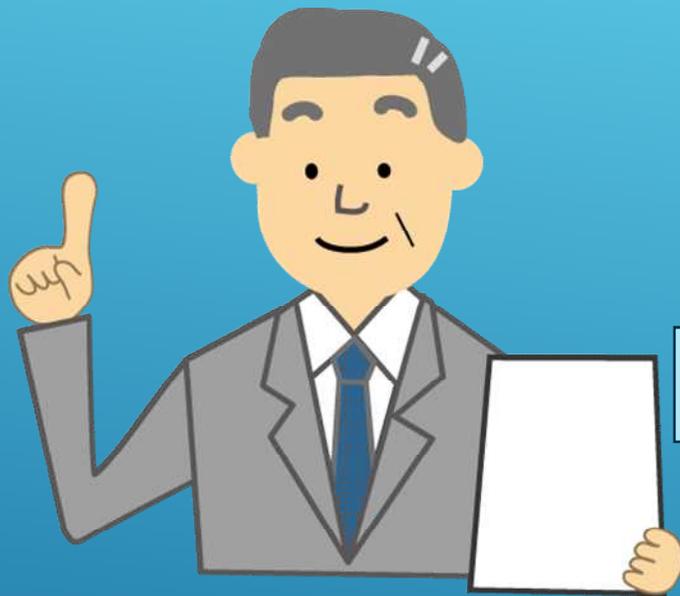
保幼園長、小中校長、特支コーディネーター等で組織

継続支援に関する内容、方法、時期等について検討協議

① 学校間連携コーディネーターの複数配置及び活用



久山町の取組



コーディネーターB

情報提供



進学先高校等



保護者、本人と相談



校内で協議

久山町の取組

情報提供の例

私立高校進学の子生徒 A の場合

1 特性

- ・ 多動傾向、離席が見られる
- ・ 姿勢保持ができない
- ・ 学力が低い

2 引継内容

- ・ 落ち着きがなく苛立っている場合は、別室でクールダウンを行っていたこと
- ・ 席を前方にしておく（余計な刺激が入らないように個別的な声かけがしやすいように）

久山町の取組

②チェックシート、支援シートの開発及び活用

発達障害の可能性のある園児・児童・生徒チェックシート(中学校)㊟

記載日	H 年 月 日	
(ふりがな) 氏名	出身園・学校	記載者

区分け	説明
1	気にならない
2	少し気になる
3	まあまあ気になる(経過観察)
4	とても気になる

診断名	
-----	--

注意行動	対人面	学力
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

	チェック	総合
注意行動	絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。	#DIV/0!
	座っていないなければならないときに席を離れる。	
	集中力に欠ける。	
	整理整頓が苦手である。	
対人	忘れ物が多い。	#DIV/0!
	友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。	
	すぐにカッとなり、気持ちのコントロールがうまくできない。	
	友達とトラブルが多い。	
学習	うまく友達関係を築くことができない。	#DIV/0!
	コミュニケーションが下手である。	
	読み書きに困難がある。	
	読書が苦手である。	
	計算が苦手である。	#DIV/0!
	一斉指導で聞き返しがあるなど、聞く力が弱い。	
	手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。	

チェックシート

発達障害の可能性のある園児・児童・生徒支援シート ㊟

目標		

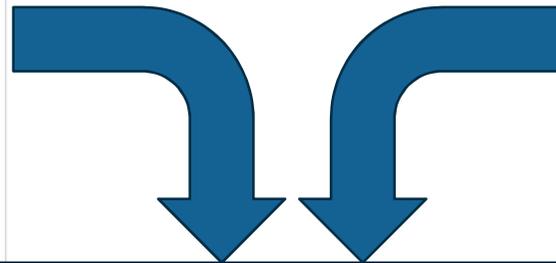
	具体的な生徒の様子	具体的な支援方法
注意・行動		
対人		
学習		
評価		

支援シート

久山町の取組

〔様式例1〕-② プロフィール (その2)

本人の特徴	
診断名	
かかりつけの医療機関等	
持病・服薬等 (アレルギー等)	



引き継ぎシートC

〔中学校等 → 高等学校等・特別支援学校〕

	実施日(年齢)	実施機関	結果等
診断・検査等の記録			

発達障害の可能性がある園児・児童・生徒チェックシート(中学校) ㊦			発達障害の可能性がある園児・児童・生徒支援シート ㊦																																								
記載日 (ふりがな) 氏名			出身園・学校 記載者																																								
区分け			目標																																								
1	気にならない		具体的な生徒の様子																																								
2	少し気になる		具体的な支援方法																																								
3	まあまあ気になる(経過観察)		注意・行動																																								
4	とても気になる		対人																																								
診断名			学習																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>注意行動</th> <th>対人</th> <th>学力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>#DIV/0!</td> <td>#DIV/0!</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> </tbody> </table>			注意行動	対人	学力	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	<table border="1"> <thead> <tr> <th>チェック</th> <th>総合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>座っていないなければならないときに席を離れる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>集中力に欠ける。</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td>整理整頓が苦手である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>忘れ物が多い。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>すぐにカッとやり、気持ちのコントロールがうまくできない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>友達とトラブルが多い。</td> <td>#DIV/0!</td> </tr> <tr> <td>うまく友達関係を築くことができない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションが下手である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>読み書きに困難がある。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>語彙が少ない。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計算が苦手である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一斉指導で聞き返しがあがる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			チェック	総合	絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。		座っていないなければならないときに席を離れる。		集中力に欠ける。	#DIV/0!	整理整頓が苦手である。		忘れ物が多い。		友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。		すぐにカッとやり、気持ちのコントロールがうまくできない。		友達とトラブルが多い。	#DIV/0!	うまく友達関係を築くことができない。		コミュニケーションが下手である。		読み書きに困難がある。		語彙が少ない。		計算が苦手である。		一斉指導で聞き返しがあがる。		手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。	
注意行動	対人	学力																																									
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!																																									
チェック	総合																																										
絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。																																											
座っていないなければならないときに席を離れる。																																											
集中力に欠ける。	#DIV/0!																																										
整理整頓が苦手である。																																											
忘れ物が多い。																																											
友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。																																											
すぐにカッとやり、気持ちのコントロールがうまくできない。																																											
友達とトラブルが多い。	#DIV/0!																																										
うまく友達関係を築くことができない。																																											
コミュニケーションが下手である。																																											
読み書きに困難がある。																																											
語彙が少ない。																																											
計算が苦手である。																																											
一斉指導で聞き返しがあがる。																																											
手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。																																											

トは、お子さんに必要な支援内容について進学先の学校に伝えるものです。
記入や進学先の学校への引き継ぎは、中学校等(中等教育学校前期)の先生方に協力してもらうこと

氏名

個別の教育

パートノート

久山独自のシート

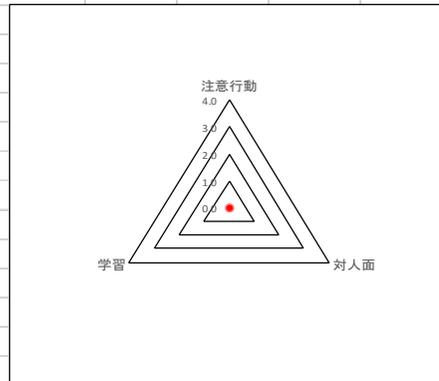
久山町の取組

発達障害の可能性のある園児・児童・生徒チェックシート〈中学校〉[㊫]

記載日	H 年 月 日		
(ふりがな) 氏名		出身園・学校	
		記載者	

区分け	
1	気にならない
2	少し気になる
3	まあまあ気になる(経過観察)
4	とても気になる

診断名	
-----	--



注意行動	対人面	学習
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

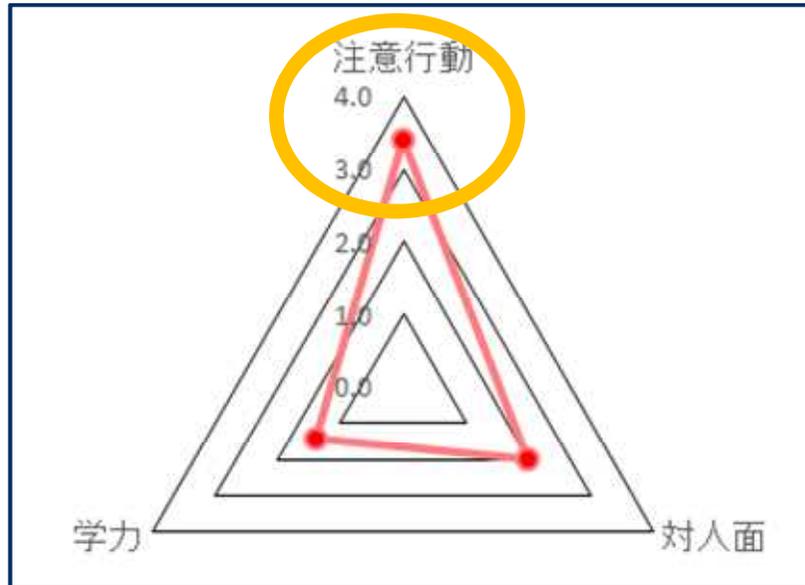
		チェック	総合
注意行動	絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。		#DIV/0!
	座っていないなければならないときに席を離れる。		
	集中力に欠ける。		
	整理整頓が苦手である。		
対人	忘れ物が多い。		#DIV/0!
	友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。		
	すぐにカッとなり、気持ちのコントロールがうまくできない。		
	友達とトラブルが多い。		
学習	うまく友達関係を築くことができない。		#DIV/0!
	コミュニケーションが下手である。		
	読み書きに困難がある。		
	語彙が少ない。		
	計算が苦手である。		
	一斉指導で聞き返しがあるなど、聞く力が弱い。		
	手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。		

②①のチェックの総合ポイントがチャートに反映

①「注意行動」「対人」「学習」の3点に関して、その度合いを担当がチェック

チェックシート

久山町の取組



チェックシートをもとにコーディネーターに相談し、支援シートを作成



②チャートから児童生徒の困難さも推測

①各観点の平均値が総合ポイントして数値化

		チェック	総合
注意行動	絶えず体を動かして、落ち着きに欠ける。	3	3.4
	座っていなければならないときに席を離れる。	3	
	集中力に欠ける。	4	
	整理整頓が苦手である。	3	
	忘れ物が多い。	4	
対人	友達に暴力をふるったり、暴言をはいたりすることが多い。	2	2.0
	すぐにカッとなり、気持ちのコントロールがうまくできない。	2	
	友達とトラブルが多い。	2	
	うまく友達関係を築くことができない。	2	
	コミュニケーションが下手である。	2	
学習	読み書きに困難がある。	1	1.4
	語彙が少ない。	1	
	計算が苦手である。	1	
	一斉指導で聞き返しがあるなど、聞く力が弱い。	2	
	手先の不器用さ、運動のぎこちなさがある。作業に時間がかかる。	2	

久山町の取組

③短期または、年間の目標を設定

①どのような状況、場面で児童生徒の特性が表れるか、具体的な様子を記入

②①のような特性が表れた際の具体的な、配慮、支援、対応について記入

④評価を行うとともに、効果的だった支援等を加筆し、引き継ぎ内容として記入

発達障害の可能性のある園児・児童・生徒支援シート ㊫

目標	研究紀要 No.192
注意・行動	通常の学級における ユニバーサルデザインの視点を 生かした授業づくり
対人	通常の学級における ユニバーサルデザインの 視点を生かした授業づくり
学習	追補版CD ・サポートヒントシート ・授業づくりシート
評価	

久山町の取組

引き継ぎシートA (秘)

(ふりがな) 氏名		出身中学校	
		記載者	

基本情報

学校生活や将来について	本人の願い 保護者の願い
得意なこと 興味があること	
苦手なこと 苦手な教科	

現在受けている外部機関の支援(医療、福祉、教育等)

支援機関名	担当者	服用・支援の内容など

診断名

支援状況

配慮や支援が必要な場面	支援	中学校での様子	支援内容
生活面	①生活リズム		
	②遅刻・欠席等		
	③食事		
	④身辺処理		
	⑤登下校・教室移動		
	⑥危険察知		
	⑦その他		
社会性	①指示内容の理解		
	②意思の伝達		
	③人との関わり方		
	④集団参加		
	⑤ルールの理解・遂行		
	⑥感情のコントロール		
	⑦注意の集中・持続		
	⑧その他		
身体機能面	①疾病		
	②見え方		
	③聴こえ方		
	④姿勢保持		
	⑤手先の動き		
	⑥その他		
学習面	①教科		
	②読むこと		
	③書くこと		
	④計算		
	⑤家庭学習		
	⑥その他		

中学校3年間での成長	効果的であった支援内容

入学後の学校生活について(4月、5月当初)

支援や配慮が必要と思われる場面(入学式、身体測定、遠足、昼食、ホームルーム、教科、部活動等)

場面	予想される姿	必要と思われる支援

本シートを進学先の高等学校へ提供することに同意します。

平成 年 月 日
保護者氏名 印

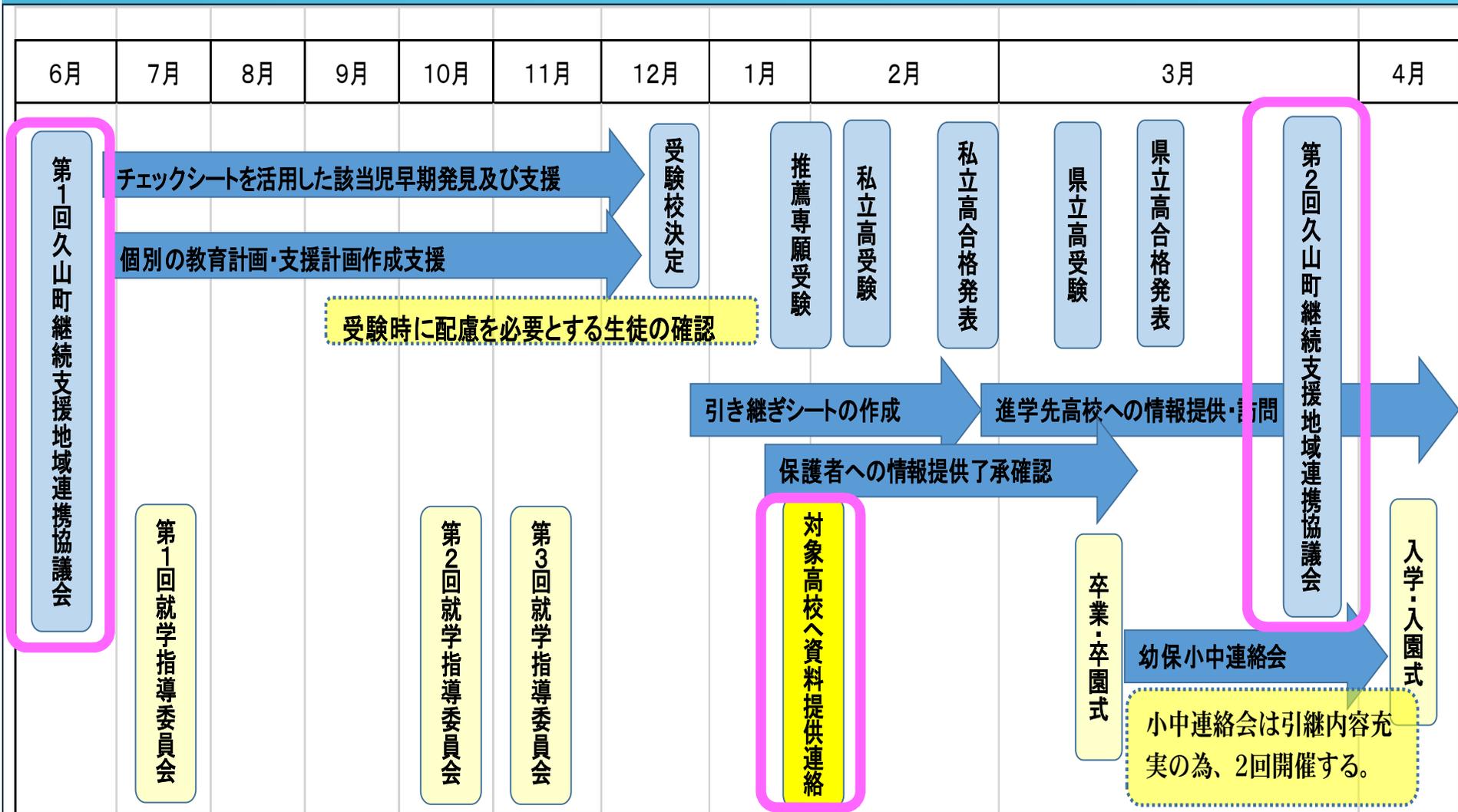
以上のことについて報告します。

平成 年 月 日
校長氏名 印

高等学校等への引き継ぎシート

久山町の取組

③久山町継続支援地域連携協議会での共通理解



事業実施スケジュール

成果と課題

◎成果

- 中学校→高等学校等への引き継ぎ実績（平成27年度）
 - ・受験可能学区内全県立高等学校へ本町の事業を説明→了承
 - ・該当生徒が進学する私立高校へ情報提供（3校4名分）
- 複数の学校間連携コーディネータを派遣したことにより困難さを抱える児童生徒等の早期対応及び適切な支援を行うことができた。また、コーディネーターBの活用により、中学校→高等学校間のスムーズな引き継ぎを行うことができた。
- 学校間連携コーディネータとともに、チェックシート、支援シートを開発し、学級担任による困難さを抱えた児童生徒への気付きを簡略化し、適切な支援の提供、シートを活用したスムーズな引き継ぎを行うことができた。
- 継続支援地域連携協議会で町内で事業実施方法について共通理解を図ることができた。
 - ・情報提供時期としては、合格発表後が最適

成果と課題

▲課題

○チェックシート、支援シートの内容充実を図る。

○平成27年度は、中学校から高等学校等への情報提供のあり方が充分ではなかった。生徒の将来を考え、3年生の当初から保護者へ引継の重要性を伝えた上で、学校間連携コーディネーター、中学校で協議を行い、保護者了承のもと、資料提供ができるよう、引き継ぎのあり方の研究をさらに深めていく。

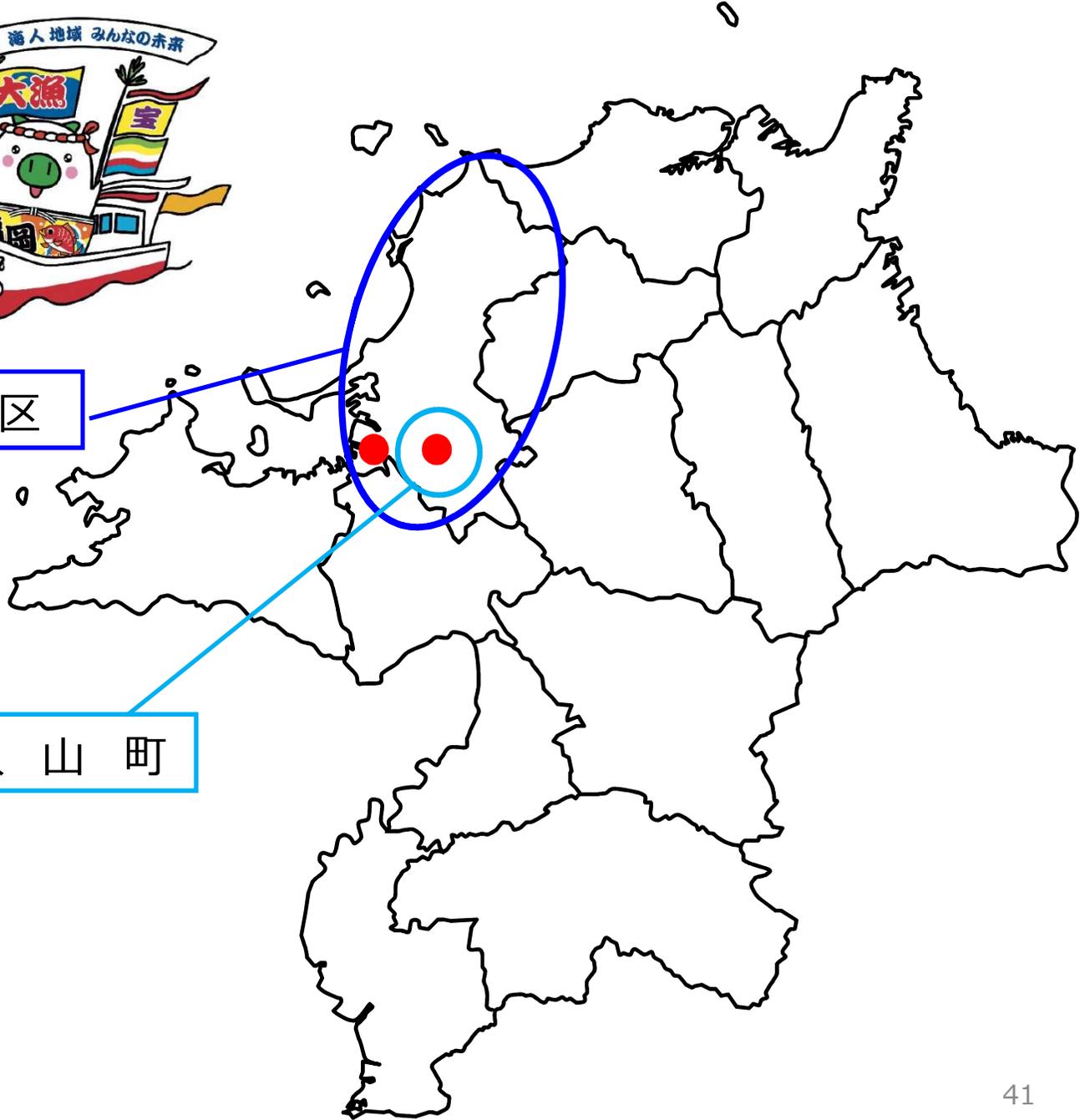
本日お話しすること

- 1 本県の考え方
- 2 就学前から中(高等)学校の引継ぎ
(実践Ⅰ:久山町教育委員会)
- 3 中学校から高等学校の引継ぎ
(実践Ⅱ:福岡県高校教育課)
- 4 成果と課題



第4学区

久山町



指定校における取組概要

学校間連携コーディネーターの配置



- 進学前後における適切な引き継ぎ内容及び時期等の研究
 - 高校への入学決定後にスムーズに引き継ぎができるよう、中学校への事前周知
- 引き継ぎを実施する体制の整備
 - 引き継ぎシートの活用等

第4学区

高校



中学



必要に応じて



生徒 A（1年生）の場合

1 特性

- ・ 集中が持続しない
- ・ 姿勢を保つのが困難
- ・ 授業中に居眠りが多い
- ・ 課題等を出せない



2 相談状況

- (1) 合格者登校日に保護者から相談
検査等は未受診
- (2) 前籍校からの引き継ぎ事項なし
小規模校だったため、周囲の理解が得られており、個別の指導計画等の作成はなし

3 対応

- コーディネーターによる授業観察
 - 前籍校を訪問して聴き取り
「目標を持たせれば取り組めることが多い」
 - SCによるカウンセリング
 - 授業担当者会議
- 口頭でなく視覚的な指示をする
個別の課題を提示する



4 変容

- ・授業中の居眠りが少なくなった

「授業中、次に何をやるかわかるようになった」

「授業がわかるようになった」

- ・期限通りに課題を提出できるようになった

「課題が解けるようになった」



「学校が楽しい」



- ・学校行事や委員会活動にも積極的に取り組むようになった



生徒 B（2年生）の場合

1 特性

- こだわりが強い
- 板書されていることをノートに書き取ることが苦手

（ 黒板のとおりには書こうとするが、字が大きいためノートに入りきらないことが多く、途中で書き取るのをやめてしまう ）

- 予定外の事態に対応することが苦手
- 人付き合いが苦手



2 相談状況

- (1) 進級時に担任から相談
検査等は未受診 → 保護者は受診希望
- (2) 前籍校からの引き継ぎ事項なし

3 対応

- ・コーディネーターによる授業観察
 - ・大学の臨床心理センターにつなぐ
 - ・授業担当者会議
- ノートに紙をつぎ足して書かせる
困っていそうな時は声をかける



4 変容

- 最後までノートに書き写せるようになった
- 授業中に居眠りしなくなった
「授業がわかるようになった」
- 自分が困っていることを伝えられるようになった
「どうすればいいですか？」
- 積極的にコミュニケーションを取るようになった
「友達ができた」
「学校が楽しい」



今後の課題

○高等学校について

- ・ 指定 2 校以外の高等学校についても中学校からの引き継ぎがスムーズに行えるよう、本事業の研究内容について周知

○中学校について

- ・ 政令市等行政区が異なる中学校に対しても引き継ぎシートをはじめ本事業の研究内容について周知
- ・ 学区外の中学校から来る生徒に対応するため学区外の中学校に対しても本事業の研究内容について周知

特別な支援を必要とする生徒に対する効果的な中高連携のための学校訪問

○目的

中学校と高等学校の連携強化により、様々な課題を抱える生徒に対して、一貫して継続性のある支援を効果的に行うこと

○訪問時期

平成29年1月～平成29年3月

○打合せ内容

- 1 在籍生徒に関する引き継ぎについて
- 2 平成29年4月入学予定者の引き継ぎについて
 - (1) ふくおか就学サポートノート（引き継ぎシート）について
 - (2) その他特別な支援を必要とする生徒に関する連携について

本日お話しすること

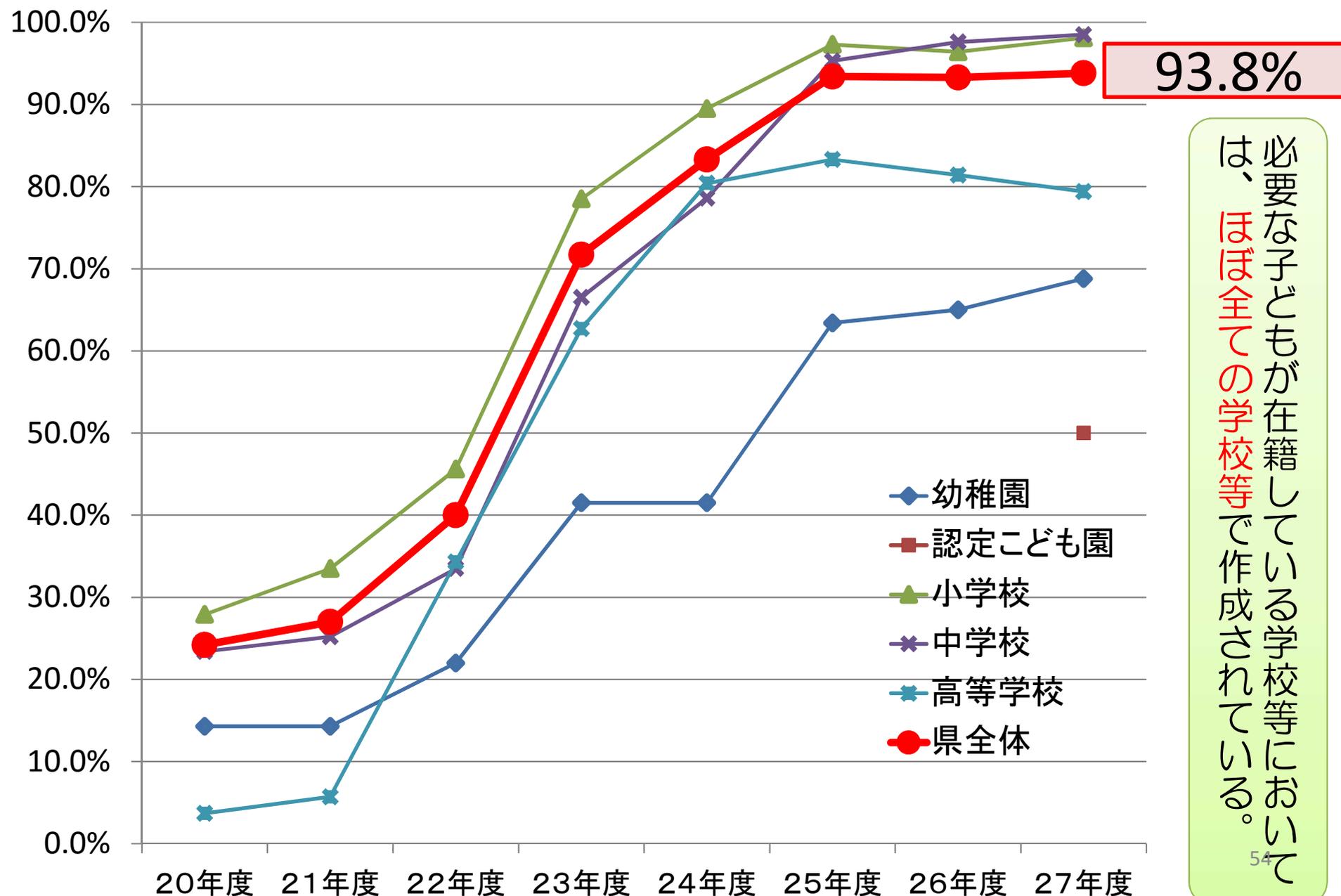
- 1 本県の考え方
- 2 就学前から中(高等)学校の引継ぎ
(実践Ⅰ:久山町教育委員会)
- 3 中学校から高等学校の引継ぎ
(実践Ⅱ:福岡県高校教育課)
- 4 **成果と課題**

事業の成果

- 個別の教育支援計画作成率の向上
- 一貫した継続性のある支援を目指した、学校間連携による情報提供数の増加
- 久山町教育委員会における、早期教育相談及び学校支援を含む継続支援の総合的取組の具体化

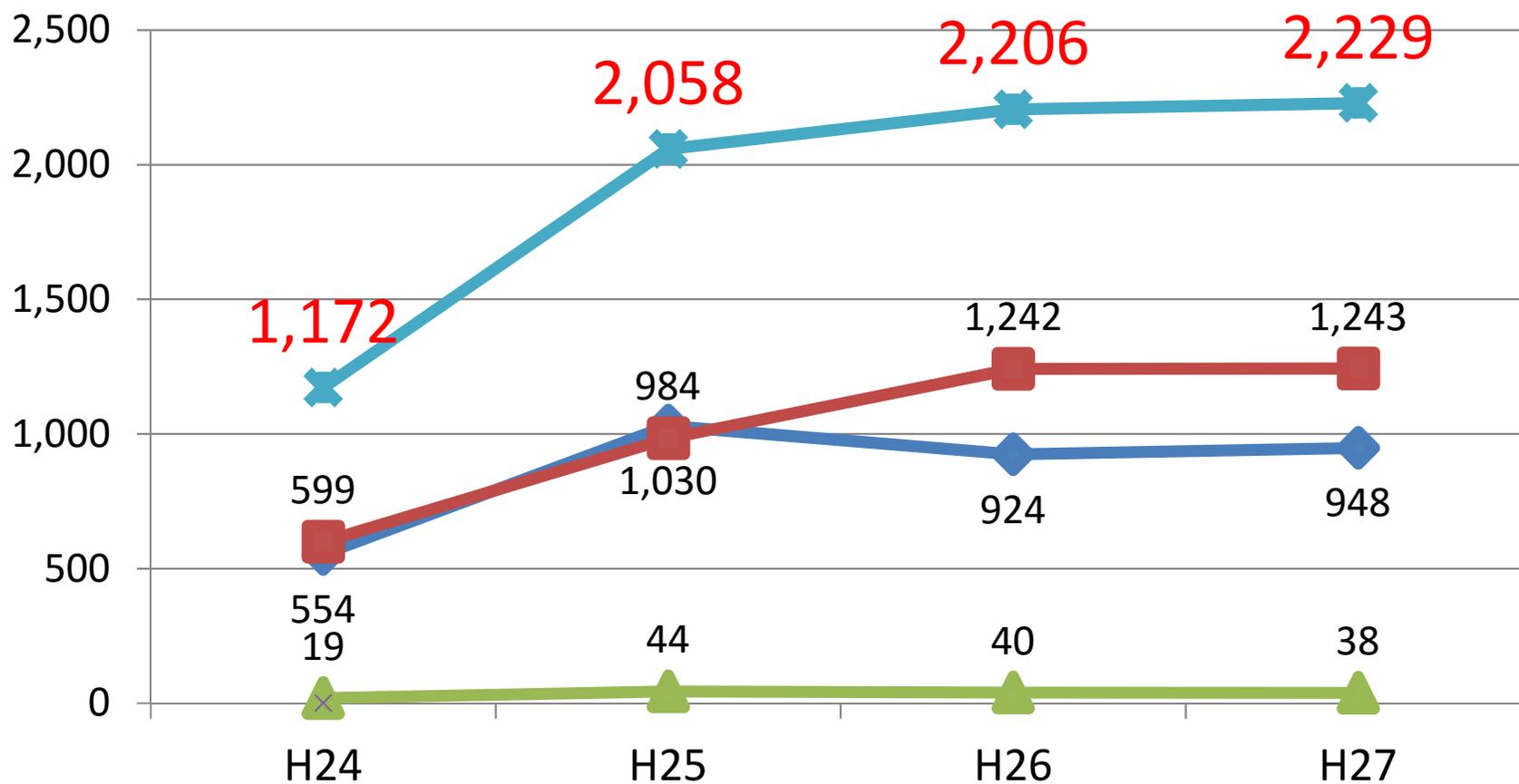
個別の教育支援計画作成率の推移（学校）

(H27体制整備調査)



「ふくおか就学サポートノート」（引き継ぎシート）等の活用状況

転入学時に、前在籍校より「ふくおか就学サポートノート」等により情報の提供を受けた数



◆小学校転入学時 ■中学校転入学時 ▲高等学校転入学時 ◆合計

今後の課題

- 管理職を含む研修会等による情報共有の必然性に関する意識化
- 必要な子どもも全てに対する個別の教育支援計画作成の推進(県施策目標値の設定)
- 系統性のある支援研究事業成果の積極的広報
 - H28: 中高特別支援教育コーディネーター研修会(全校)
 - H29: 小中学校副校長・教頭特別支援教育研修会(全校)

個別の教育支援計画の作成率（個人）（H27体制整備調査）

個別の教育支援計画作成率

	幼稚園	こども園	小学校	中学校	高校	全体
学校（園）数	32	6	470	210	102	820
作成率	83.3%	39.1%	82.1%	76.0%	71.3%	80.2%

個別の教育支援計画作成率
＝実際に作成している人数÷作成が必要だと考えている人数

必要な幼児児童生徒**全て**に作成されている訳ではない。

平成28年度事業構成

文部科学省

委託・事業費補助

福岡県発達障害児等教育継続支援事業

協議会設置、巡回相談の実施、啓発リーフレット及び就学サポートノート等配布

再委託

事業費補助(中核市を除く)

系統性のある支援研究事業

①義務教育...久山町

- 学校間連携コーディネーターの配置
- 移行期幼児児童生徒の情報収集及び提供
- 相談支援ファイルの活用促進
- 教育相談の実施及び支援

系統性のある支援研究事業

②高校教育...第4学区

- 学校間連携コーディネーターの配置
- 移行期生徒の情報収集及び提供
- 相談支援ファイルの活用促進
- 教育相談の実施及び支援

保育所・幼稚園

小学校
市立特支小学部

中学校
市立特支中学部

高等学校
市立特支高等部

普及・支援

早期支援コーディネーター配置

(行橋市、豊前市、大野城市、太宰府市、嘉麻市、広川町)...6市町9人

- 関係部局・機関等との連絡・調整
- 保育所・幼稚園等への巡回相談
- 相談支援ファイルの活用

合理的配慮協力員配置

(古賀市、大野城市、嘉麻市、みやこ町、福智町)...5市町6人

- 学校内外・関係機関との連絡・調整を活用した「合理的配慮」の提供
- 教職員及び特別支援教育コーディネーターに対する指導助言

医療的ケアのための看護師配置

(大牟田市、小郡市)...2市2人

- 学校における医療的ケアの実施
- 医療的ケアが必要な児童生徒の教育の充実

各市町村 『一貫した継続性のある支援体制の整備』

早期からの教育相談・支援、合理的配慮の提供、移行期支援等に基づく
インクルーシブ教育支援体制の構築